

シヨン等も自主的参加としました。反面、大会内容の充実を目指し、4分科会全々に提案型で県内ユ協の発表をお願いしました。

今年の6月には群馬県の『富岡製糸場と絹産業遺産群』のユネスコ登録の認定が待ち望まれるところですが、群馬大会が世界遺産活動を盛り上げ、またユネスコ活動への青少年参加と持続可能な社会の実現の為に、民間ユネスコ活動の新しい力となる「ユネスコスクール」活動への議論を深める大会になる事を期待しております。最後になりますが群馬県ユネスコ連絡協議会及び関係機関の絶大なご協力をお願い致します。

「関ブロ・ユネスコ活動 研究会 I N 群馬」の概要

実行委員会副会長 岸 正博

一 大会テーマ

「持続可能な社会の創造と実現」

二 ESD・民間ユネスコからの発信

三 開催日時

平成二十六年十月二十五日(土)

四 日程

受付 九時～十時

オープニングセレモニー 九時半～十時

開会式 十時～十時半

報告(日本ユネスコ国内委、日ユ協) 十時半～十一時十分

基調講演

十一時二十分～十二時二十分

移動・昼食

十二時二十分～十三時半

分科会

十三時半～十五時四十分

休憩

十五時四十分～十六時

分科会報告

十六時～十六時二十分

閉会式

十六時二十分～十六時四十分

休憩

十六時四十分～十七時

懇親会

十七時～十八時半

会場

高崎シティギャラリー(午前)

高崎ビューホテル(昼食～午後)

五 開催趣旨

日本に民間ユネスコが発生して60有余年が過ぎ、日本はいま東日本大震災からの再生を課題としている。社会のグローバル化の中で、日本の国際社会に果たしてきた役割と使命を改めて深く考え、日本国民が世界に発信した「持続可能な社会の実現」に向けて、民間ユネスコ精神をさらに発展させるときである。

このようなときに関東ブロックユネスコ活動の課題は、日本ユネスコ協会連盟の活動方針を踏まえ、次世代のエネルギーを積極的に組織化し、俯瞰的にユネスコ精神の継承と進展を図ることにある。会員主体の研修・研究の場でもある本大会においても、日本が発信した人類の「持続可能な社会の実現」に向けての協議をより深め、民間ユネスコ活動のあり方を考え、提言するものである。

折しも、「富岡製糸場と絹遺産群」の世界遺産登録が期待される中で、群馬大会開催となる。ESD (Education

for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育)はユネスコ活動の根幹をなすものと考え、本大会での協議は、各ユ協との交流・連携とともに、民間ユネスコ活動の発展に大きく資するものと考えらる。

六 分科会(一分科会に二提案)

①「世界遺産・地域遺産」

提案(富岡ユ協)(都・他県ユ協)

②「ESD・ユネスコスクール」

提案(前橋ユ協)(都・他県ユ協)

③「異文化理解・国際交流」

提案(大泉ユ協)(都・他県ユ協)

④「ユネスコ活動運営・活性化」

提案(太田ユ協)(都・他県ユ協)

※各都県の「記録、写真、機器」の係は群馬が担当する。

関ブロ・ユネスコ活動研究会 群馬大会組織・役員

関ブロ群馬大会は、「オール群馬」開催を合言葉に昨年春から始動して来たところ。大会参加者は二〇〇名と想定しており、今後具体的な役割を定めて行く必要がありますので皆様のご協力を是非ともお願いします。

◎大会本部

◎会長 関口実(太田) ◎副会長 吉田和美(館林)、矢野薫(安中)、北川絃一郎(桐生)、若田部茂子(太田) ◎監事 庭屋崇(前橋) ◎事務局次長 若田部茂子(太田) ◎事務局次長 新井正雄(太田)、中村利光(太田)、小林美知子(太田) ◎会計 松本千恵子(高崎)、岡部幹夫(高崎)、金田勝代(太田)、酒井澄江(太田)

◎大会実行委員

◎実行委員長 須田洋光(高崎) ◎副委員長 高野知子(伊勢崎)、高橋總一郎(富岡)、小林昭夫(沼田)、岸正博(藤岡地方)

◎委員 庭屋崇(前橋)、斎藤一雄(中之条)、関田訓一(大泉)、下山進平(桐生)、竹内靖博(桐生)、山岡之孝(太田)、中村利光(太田)、高橋美恵子(前橋)、矢内三四列(伊勢崎)、佐々木治(高崎)、相原裕(高崎)、樋口克己(高崎)、串田昭光(高崎)、上田一美(高崎)、岩井聖子(高崎)、佐藤和男(富岡)、下田一成(沼田)、蛭間享一(館林)、正田令子(館林)、猿倉憲(安中)、中碓水、桜井幹男(安中碓水)、依田治雄(藤岡地方)、富沢易和(中之条)、寺西弘之(天泉)



for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育)はユネスコ活動の根幹をなすものと考え、本大会での協議は、各ユ協との交流・連携とともに、民間ユネスコ活動の発展に大きく資するものと考えらる。